

2050年、低炭素化の実現とSociety5.0

2018年12月12日

富士通株式会社 環境・CSR本部

環境技術統括部 環境エンジニアリング部

山崎 誠也

富士通のアプローチ



■ つながるサービス

- AI、IoT、クラウド、セキュリティを中心としたデジタル技術をつないで、データを価値に変換するインテリジェントなサービスを提供
- ヒューマンセントリック・インテリジェントソサエティの実現を目指す



産業のデジタル革新

- Knowledge Integration
- インダストリー・プラットフォーム



プラットフォームとエコシステム

- Digital Business Platform MetaArc
- オープンイノベーション



テクノロジー・ブレイクスルー

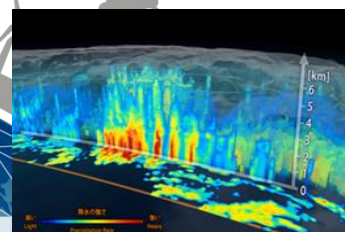
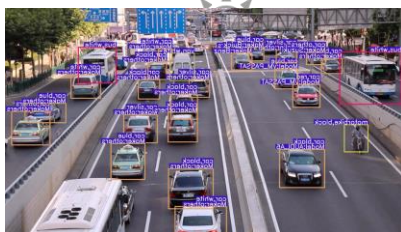
- Human Centric AI Zinrai 「説明可能なAI」
- デジタルアニーラ、など

共通のゴール達成に向けて

- ヒューマンセントリック・インテリジェントソサエティとSDGsの方向性は一致
- 富士通は、ビジョンの実現を通してSDGsの実現に貢献



デジタル革新を支えるテクノロジーやサービスにより脱炭素社会の実現に貢献すると共に、2050年に自らのCO₂ゼロエミッションを目指す



緩和
脱炭素社会への貢献

適応
社会の適応策への貢献

自ら
CO₂ ゼロエミッションの実現



- 環境大臣表彰受賞（2017, 18年の2年連続）

PRIMERGY CX600

液浸冷却システム

平成30年度
地球温暖化防止活動
環境大臣表彰



Minister of the Environment

技術開発・製品化部門

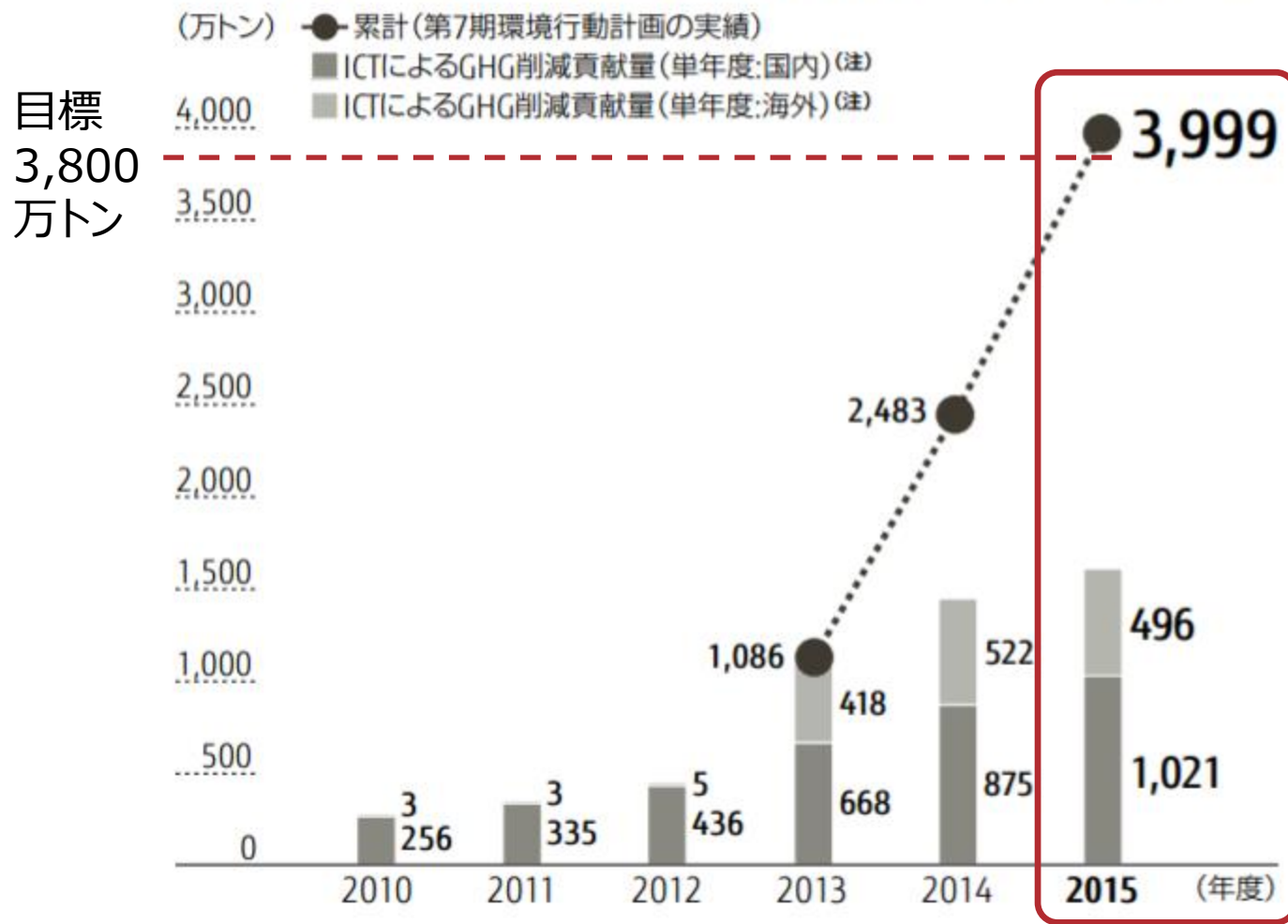


- ・ 外気で冷やす水冷モデル採用により、
消費電力 ▲47%

- ・ 空冷システムに比べてサーバシステム
全体の消費電力 ▲約40%

ICTの提供によるGHG削減

ICTの提供による温室効果ガス(GHG)排出量の削減貢献量



(注) 2010年度から12年度の値は第6期環境行動計画における実績値です。
13年度から範囲をグローバルに拡大しています。

2050年：持続可能な豊かな社会

Society 5.0 for SDGs

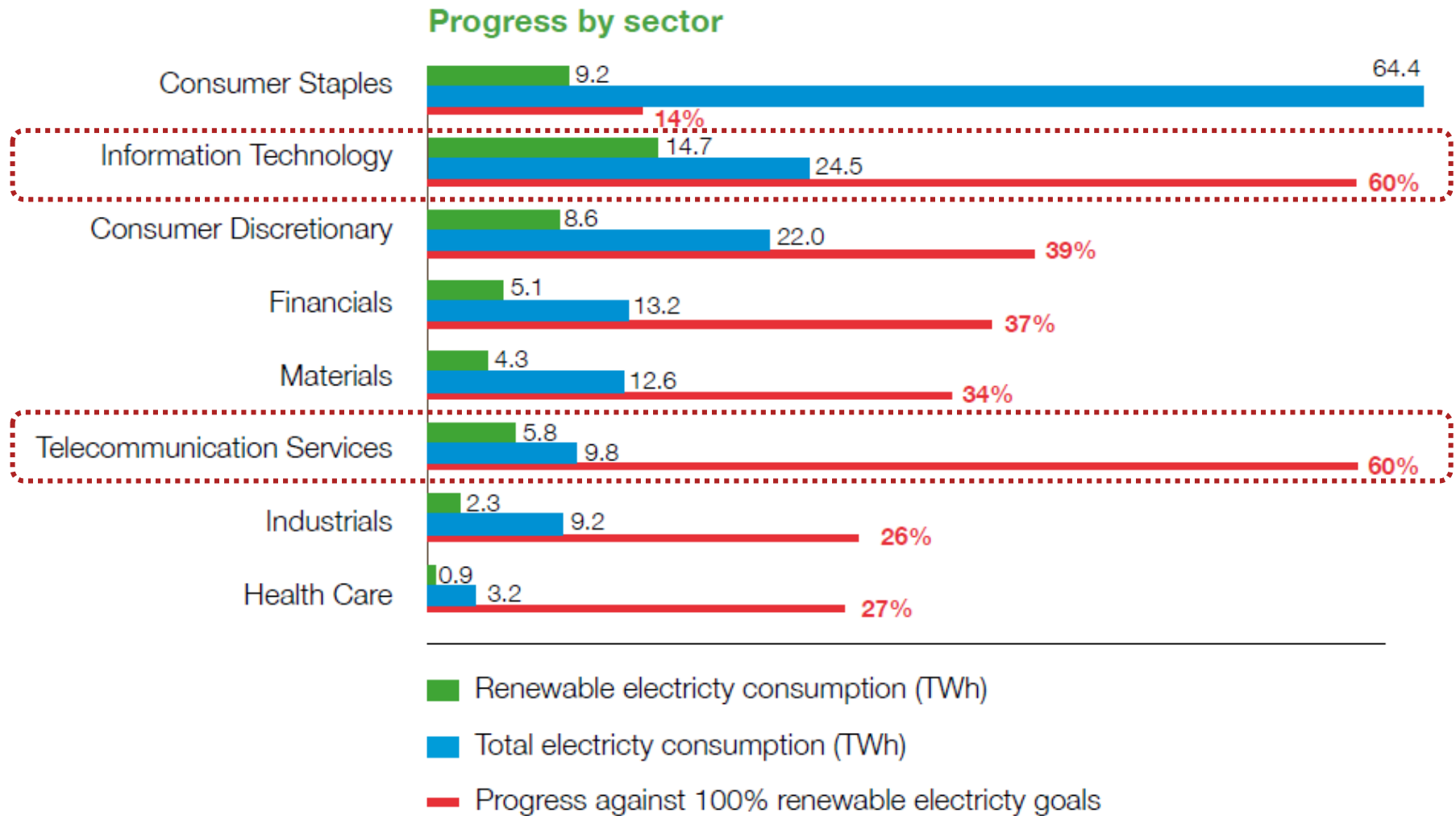
Keidanren
Policy & Action

Society 5.0は「課題解決」と「未来創造」の視点を兼ね備えた新たな成長モデル
さらには、国連で掲げられたSDGsの達成にも大いに貢献するもの



経団連はSDGsを支援しています。

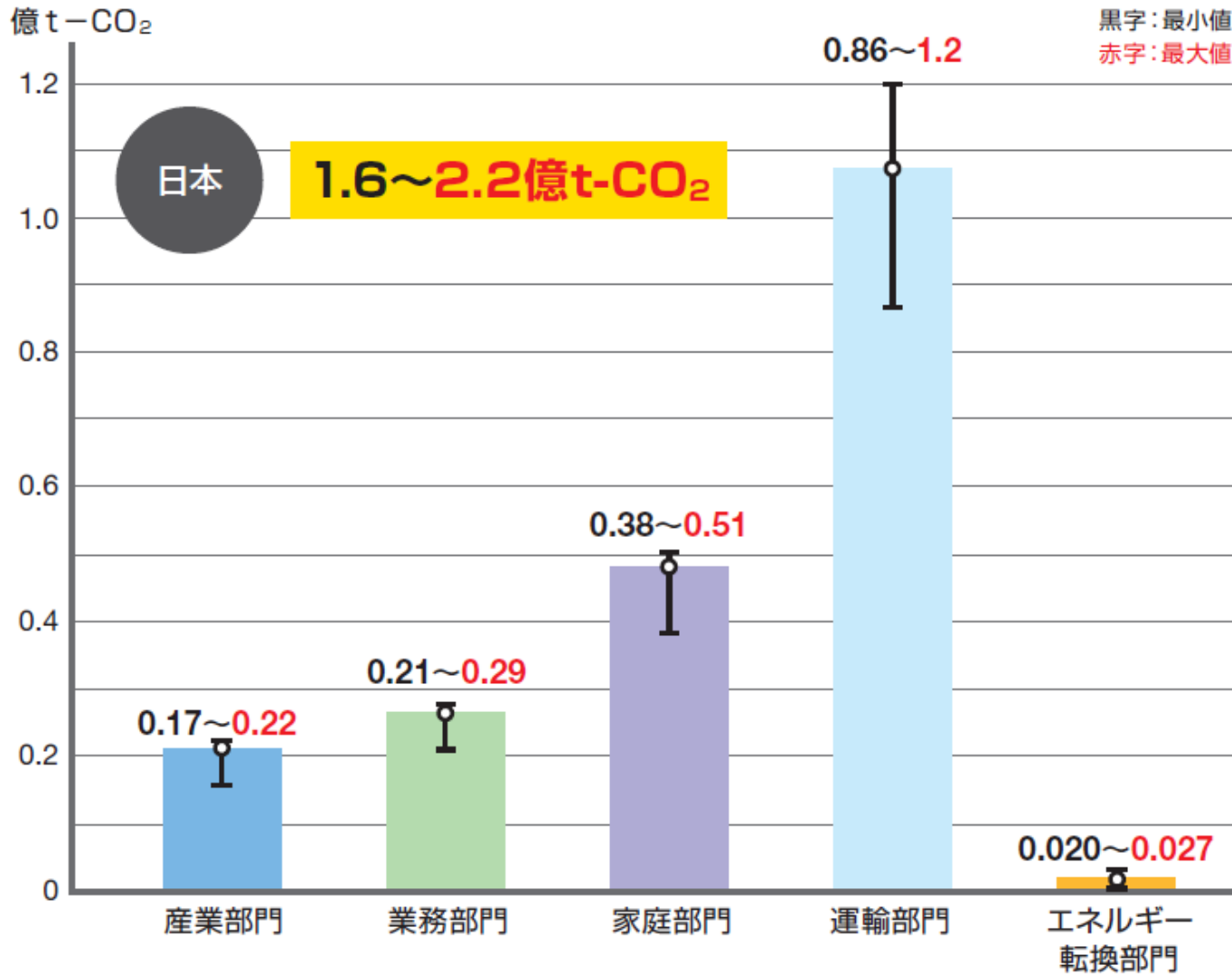
■ 欧米の主要ICT企業が、再エネへのシフトをリード



Source:
RE100 Progress and Insights Report,
Jan.2018

ICTによる低・脱炭素社会への貢献

ITソリューションによる2030年の日本におけるCO₂削減ポテンシャル^{※6}



削減に貢献するITソリューションの例


カテゴリー	ITソリューション	
産業	工場	FEMS
	生産プロセス	照明 / 空調 / モーター / 発電機の効率化、生産プロセスの効率化
業務	建物	BEMS
	屋内	電子タグ・物流システム、ペーパーレスオフィス、業務のIT導入、テレワーク、TV会議、遠隔医療・電子カルテ、電子入札・電子申請
家庭	建物	HEMS
	屋内	電子マネー、電子出版・電子申請、音楽配信・ソフト配信、オンラインショッピング
運輸	インフラ	信号機のLED化
	アクティビティ	ITS、自動車の燃費改善、輸送手段の効率向上、エコドライブ
エネルギー転換	再生可能エネルギー	系統の安定化

出典：グリーンIT推進協議会「調査分析委員会総合報告書（2008年度～2012年度）」をもとに富士通総研とJEITAで作成

出所：ITソリューションによる温暖化対策貢献 (JEITA)

ヒューマン セントリックな未来

- AIが進化する中、どのような未来を創るのかを選択しなければならない
- 成功はAIではなく、それを使う人にかかっている
- 様々な分野で発生するデータと人々の知見をつないでヒューマンセントリックな価値を共創



FUJITSU

shaping tomorrow with you